

証券コード 2331

第**58**期
株主通信

総合警備保障株式会社

ALSOK

Communication

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

強靱な総合安全安心サービス業へ



拡大する安全・安心ニーズにお応えし 高品質な警備サービスの提供に努めます



代表取締役
グループCEO

村井 豪



代表取締役
グループCOO

栢木 伊久二

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第58期（2022年4月1日～2023年3月31日）の概況についてご報告申し上げます。

事業関係について

当連結会計年度における我が国経済は、資源高や円安を背景とした物価上昇や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等があったものの、政府の総合経済対策の効果もあり、緩やかな持ち直しの動きが継続しました。

警備分野においては少子高齢化と労働力人口減少の中にある、重要インフラ・サプライチェーン等へのサイバー攻撃対策、高齢者、女性、子ども等の社会的弱者の安全・安心への懸念、凶悪な街中での犯罪や事故の増加、相次ぐ自然災害、インフラ老朽化などを背景に、警備業界に対する社会の期待は高まっており、中でも当社グループに対しては、警備・設備・介護等のトータルでのサービス提供が期待されております。加えて、最近では首相襲撃事件や広

域強盗傷害事件等の発生を受けて国内の体感治安が悪化しており、インバウンド需要等も回復する中、安全・安心を守る当社グループに対する社会の期待はますます高まっていると言えます。

決算概要について

このような情勢の中、当社グループは、国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務である社会の安全・安心に関するサービス（セキュリティサービス事業、総合管理・防災事業、介護等生活支援事業）を行う事業者として、適切にサービス提供を継続してまいりました。中期経営計画「Grand Design 2025」に掲げております、「お客様と社会の安全・安心を支える強靱な総合安全安心サービス業」を目指して、警備・設備・介護等の多様なサービス機能を組み合わせ新たなサービス提供に取り組んでおります。

以上のような取組みを続ける中、第3四半期までは、前年の東京2020大会関連売上の減少やシステム関連費用等

の増加をカバーすることができず、前年同期比減収減益となっておりましたが、第4四半期においては業績回復への取組強化が奏功し、当連結会計年度における当社グループの連結業績は、売上高は東京2020関連売上の減少等をカバーし、4,922億円（前年同期比0.6%増）となりました。しかし、利益においてはシステム関連費用の増加等をカバーするには至らず、営業利益は369億円（前年同期比13.7%減）、経常利益は392億円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は239億円（前年同期比17.3%減）となりました。

今後の見通し

インバウンド需要の回復を含めコロナ禍からの経済正常化の動きが継続しており、民需主導の緩やかな成長が期待されますが、他方で、賃上げ等の影響を受けての物価動

向、金融市場の動向と金融のシステミックリスク、その他内外情勢のリスク等に注意が必要です。リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、警備ビジネスモデルの変革を推進し、「強靱な総合安全安心サービス業」を目指し、お客様と社会の安全・安心ニーズへの対応能力の強化、デジタル化とデータ活用、社員が活用できる環境の構築、サステナビリティへの取組強化を行ってまいります。

これらにより、当社グループの2024年3月期の連結業績予想は、売上高5,125億円（前年同期比4.1%増）、営業利益386億円（前年同期比4.3%増）、経常利益410億円（前年同期比4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益255億円（前年同期比6.5%増）を見込んでおります。

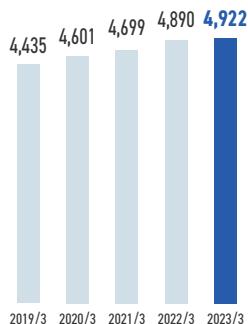
株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

売上高

4,922億円

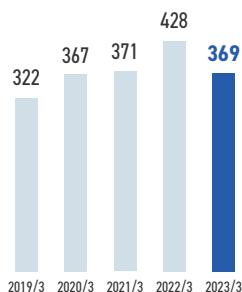
(億円)



営業利益

369億円

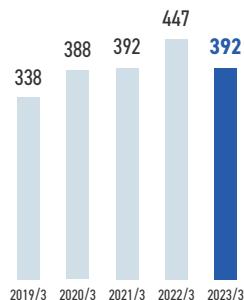
(億円)



経常利益

392億円

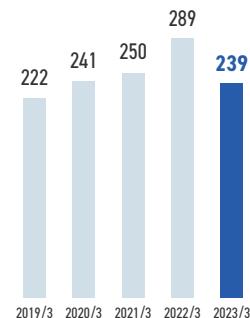
(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

239億円

(億円)



セグメント別状況

売上
構成比

セキュリティ事業

機械警備業務



- 法人向けサービスでは、「ALSOK-G7 (ジーセブン)」の販売を推進
- 個人向けには、高齢者向け見守りサービス「HOME ALSOK みまもりサポート」などの販売を推進
- ホームセキュリティ新商品「HOME ALSOK Connect」の提供開始

常駐警備業務



- 新型コロナウイルス感染者の軽症者等のための宿泊療養施設やワクチン接種会場等の警備に引き続き対応
- 今後は生産拠点の国内回帰やアフターコロナにおける国内イベントの本格再開等に対応予定

警備輸送業務



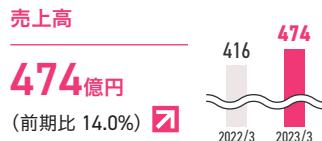
- 「小口出金・振替」機能を追加した「MH-Aモデル」の提供を開始
- 入出金機オンラインシステムを用いた「税公金受付システム」の提供を開始
- 「手形・小切手の電子交換所」の集中業務を開始

総合管理・防災事業



- 建設工事部門の完工高が堅調に推移
- ファシリティマネジメント業務の拡大に取り組んでいく
- EV充電設備の販売・設置工事や保守メンテナンス等の取り組みも強化

介護事業



- 有料老人ホーム運営会社のM&Aの効果などで増収
- 産学連携協定を通じたトータルケアパッケージの標準化に関する共同研究を開始
- 介護事業統一ブランド「ALSOKの介護」の拡充に努める

機械警備
業務
35.7 %

常駐警備
業務
25.1 %

警備輸送
業務
13.6 %

14.8 %

9.6 %

その他 1.1%

5カ年決算サマリー

詳細な財務情報のご案内
<https://www.alsok.co.jp/ir/finance/>



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
連結財務ハイライト (百万円)					
売上高	443,535	460,118	469,920	489,092	492,226
売上原価	334,197	345,097	352,811	363,511	370,998
売上総利益	109,338	115,020	117,108	125,581	121,228
販売費および一般管理費	77,057	78,224	79,926	82,715	84,234
営業利益	32,280	36,795	37,182	42,865	36,993
経常利益	33,881	38,880	39,212	44,796	39,230
親会社株主に帰属する当期純利益	22,269	24,163	25,014	28,964	23,950
総資産	410,113	428,796	481,465	488,278	516,647
純資産	257,098	270,432	304,427	327,509	343,893
設備投資	15,842	14,066	13,641	16,280	16,448
減価償却費	15,077	14,905	15,828	16,861	17,992
研究開発費	559	594	575	565	603
収益性					
売上高総利益率 (%)	24.7	25.0	24.9	25.7	24.6
売上高営業利益率 (%)	7.3	8.0	7.9	8.8	7.5
売上高経常利益率 (%)	7.6	8.5	8.3	9.2	8.0
総資産経常利益率 (ROA) (%)	8.4	9.3	8.6	9.2	7.8
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	9.9	10.1	9.6	10.0	7.8
EV/EBITDA (倍) ※1	9.6	9.7	9.4	5.8	5.7
その他情報					
従業員数 (連結) (人)	37,417	37,902	38,444	38,192	39,039
平均勤続年数 (単体) (年)	16.8	17.2	17.4	17.6	17.8
育児休職からの復職率 (男女) (単体) (%)	98.1	98.2	98.1	95.2	98.7
CO ₂ 排出量 (グループ売上高原単位) (t-CO ₂) ※2	0.191	0.177	0.181	0.174	0.176
CO ₂ 排出量 (グループ) (t-CO ₂) ※2	84,655	81,286	85,501	85,146	86,850

※1 EV/EBITDA倍率の算出式は下記のとおりです。
 EV = 時価総額 + 有利子負債 - 手元流動性 (現金および預金 + 有価証券)
 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※2 2021年3月期よりCO₂排出量の集計方法、集計範囲を変更しました。

ALSOK TOPICS



～シンプル・コンパクトなコントローラーで工事も簡単に～ スマホでホームセキュリティ「HOME ALSOK Connect」



2023年4月より「HOME ALSOK Connect」の販売を開始しました。

従来の「オンラインセキュリティプラン」に加え、ガードマンのかけつけ要否を選べる低価格な「セルフセキュリティプラン(月額990円)」をご用意しました。今までホームセキュリティをご利用いただいていたことがない新たなお客様にも導入しやすいプランとなっております。ご利用中の機器をそのままに、セルフセキュリティからオンラインセキュリティへのアップグレードも可能です。

また、お手持ちのスマホ・スマートウォッチから警備操作や警備履歴を確認でき、Connect Eye (防犯カメラ) との連携により、ご自宅のカメラ画像も容易に確認することができます。専用のNFC*シールにスマホをかざして警備を解除することも可能です。

更に、シンプルかつコンパクトなコントローラーでデザイン性を向上、壁面工事が不要となったことで、お部屋の美観を損ねない機器設計を実現しております。

※NFC：近距離無線通信で、「端末をかざすだけで通信できる技術」のこと。



専用アプリをダウンロードし、お手持ちのスマホから警備操作や警備履歴の確認などが行えます。また、警報発生時にプッシュ通知でのお知らせも可能です



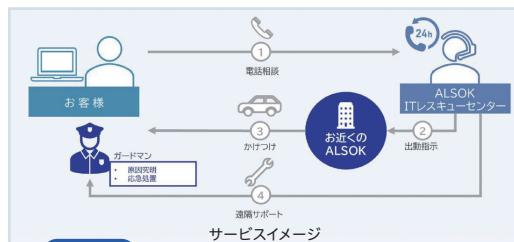
無線操作器は充電式。無線通信が可能な場所へどこでも自由に持ち運び可能。スマホだけではなく、暗証番号・専用キーによる警備操作ができます



～24時間365日、IT機器関連の障害を迅速に解決～ 「ALSOK ITレスキュー」

「パソコンが起動しない」「ネットに繋がらない」「ウイルスに感染した」などのパソコンをはじめとするIT機器関連の障害が発生した際に、電話1本でガードマンが24時間365日迅速に駆けつけて、原因究明や応急処置を行う「ALSOK ITレスキュー」を、2023年3月24日から提供開始しております。

企業のITに対する依存度は年々増加しており、企業にとってパソコントラブルは業務停止を招き、ビジネス機会の損失にも直結します。当社が行った企業へのヒアリングでは、IT担当者の業務負担とパソコントラブルが発生している間の業務停止が課題となっていることが浮き彫りに。「ALSOK ITレスキュー」は、こうしたニーズにお応えするサービスです。



CHECK

- 24時間365日対応
- 作業はALSOKにおまかせ
- 近くの拠点からお客様の元へ急行
- 専門家による遠隔サポート

販売エリア：東京23区内 ※順次拡大予定

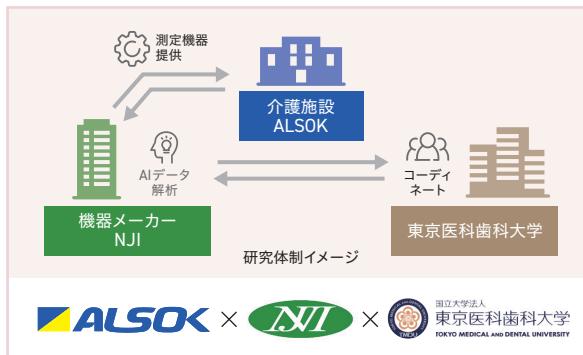
<https://www.alsok.co.jp/corporate/it-rescue/>



科学的なアプローチによる 新たな介護サービスの創出・推進に向けた協定を締結

ALSOKと株式会社エヌジェイアイ（NJI）および国立大学法人東京医科歯科大学（TMDU）の3者は、科学的なアプローチによる新たな介護・看護サービス及び各当事者の業務における新しいサービス、製品等の創出、推進を図るための連携協定を2022年10月21日から締結しております。

医療との連携も含め、個々の要介護者の状況を適切に反映したケアを行うことのできる新しい介護・看護サービスの創出を図るべく、研究開発、人材育成、具体的なサービス、製品の開発・提供、情報交流等の分野で連携しております。



バングラデシュに子会社を設立

バングラデシュ進出日系企業等のセキュリティ需要に対応するため、首都ダッカにALSOKの子会社を設立し、この地域におけるセキュリティに関するコンサルティングおよび機器販売等を行なうことにいたしました。

同子会社は、住友商事株式会社がバングラデシュ経済特区庁と共に開発を進める工業団地において、12月以降、警備業務に係る全体管理サービスを展開しております。

バングラデシュにおいては、日本で培ったノウハウを活かし現地警備員へ指導・教育するなどして、他社と一線を画す警備サービスを提供しております。上記工業団地以外に、在バングラデシュ日本国大使館へも警備サービスを提供し同施設などで開催される各種イベントなどでも「安全・安心」を届けております。今後は日系企業をはじめ、現地企業にも高品質な警備サービスを提供することにより、警備業界全体の品質向上に寄与することを目指しております。



概要

ALSOK Bangladesh Security Services Ltd.

バングラデシュにおける常駐警備サービス、機械警備サービス、警備コンサルティング、警備機器および防災機器等の販売等

■ 設立日：2022年11月15日

ALSOKのサステナビリティ

ALSOKでは、グループ全体でCSRマインドの醸成につながる取り組みを行っています。毎年1回、全グループ会社に向けたCSR活動に関するアンケートを実施して、ESGに関する定量的・定性的な情報を収集し、冊子やコーポレートサイト上で開示しています。グループ全体の取り組みを財務・非財務の面からまとめた「ALSOKレポート」を発行し、コーポレートサイトではCSR活動およびESGの取り組みに関する開示情報の充実を図っています。

こうした取り組みの結果、外部機関よりESGの観点から社会的責任を果たしていると認められ、投資指標や指数の構成銘柄に選定されています。

今後も多様化するニーズに応えることで社会的課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

ESG・SRIインデックスへの組み入れ状況



FTSE4Good

社会的責任投資指標
「FTSE4Good Index Series」
の構成銘柄

15年連続



FTSE Blossom Japan

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan Index」
の構成銘柄

6年連続



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

ESG投資指数
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」
の構成銘柄

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

ESG投資指数
「MSCI ジャパンESGセレクト・
リーダーズ指数」
の構成銘柄

6年連続

2023



Sompo Sustainability Index

「SOMPOサステナビリティ・
インデックス」
の構成銘柄

9年連続

ESG TOPICS

7年連続で「健康経営優良法人」に認定

ALSOKでは健康経営を推進しています。スポーツ施設やホテルなどを優待料金で利用できる福利厚生や、万一長期にわたり仕事を休む場合の支えとなる保険制度を備え、心身の健康に関する相談窓口の設置や、健康保険組合との協働による健康イベントの開催など、社員とその家族が健康で充実した生活を送れるように支援しています。

これらの取り組みにより、ALSOKは「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に、警備業界では唯一、7年連続で認定されました。



国連グローバル・コンパクトへの参加企業としての登録

国連グローバル・コンパクト（以下「UNGC」）に署名し、参加企業として登録されました。併せて、UNGCに署名する日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入いたしました。

UNGCは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための自発的な枠組みです。

UNGCに署名する企業・団体は、UNGCが掲げる人権、労働、環境、腐敗防止の4分野に関わる10の原則を遵守し、実践することが求められます。

将棋

第72期 ALSOK杯王将戦 藤井聡太王将 vs 羽生善治九段 注目対決は藤井王将が4勝2敗で防衛

2023年1～3月、ALSOKが特別協賛している『第72期ALSOK杯王将戦七番勝負』が行われました。

藤井聡太王将が3勝2敗と王手をかけて迎えた第6局。挑戦者の羽生善治九段に勝利し、王将位のタイトル防衛に成功しました。

局数	第1局	第2局	第3局	第4局	第5局	第6局	第7局	
藤井聡太王将	○	●	○	●	○	○	—	防衛
羽生善治九段	●	○	●	○	●	●	—	
対局日	1/8(日)、 9(月・祝)	1/21(土)、 22(日)	1/28(土)、 29(日)	2/9(木)、 10(金)	2/25(土)、 26(日)	3/11(土)、 12(日)	3/25(土)、 26(日)	
対局地	静岡	大阪	石川	東京	島根	佐賀	栃木	



王将戦に臨む
藤井王将(左)と
羽生九段



撮影に応じる
羽生九段(左)と藤井王将

伝統と格式の大会・王将戦

王将戦は、全棋士（プロ棋士）による将棋の大会（棋戦）。一次、二次予選を勝ち抜いた棋士3名とシード棋士4名で挑戦者決定リーグ戦を行い、優勝者が王将への挑戦者となり、例年1～3月に七番勝負を行います。1950年に創設され、翌51年からタイトル戦となりました。現在8大タイトル戦の中で名人戦に次ぐ歴史ある棋戦です。

社会現象となった羽生善治九段による史上初のタイトル全冠制覇（1995年

度、当時タイトル7つ）も、この王将戦で達成されました。

将棋と警備に通じる“攻守”

将棋の歴史は古く、平安時代にはその原型となるものがあつたとされています。現在の「将棋」となつて以来、基本的なルールは変わっていないにもかかわらず、対局者の研究により次々と新たな戦術が生み出され続けています。

あらゆる世代の方に親しまれている将棋は、バランスの取れた「攻め」と「守

り」が重要ですが、当社が主業務にしている「警備」の世界も万全な「守り」だけでなく、近年では、人による警備からAIや5G等の先端技術を活用した「攻め」のセキュリティに進化を遂げています。

また、将棋の世界の対局相手に示す敬意や負けた側が自ら宣言する高潔さに、当社創業以来の精神である「ありがとうの心」と「武士の精神」との親和性を感じ、2021年4月から王将戦に特別協賛しています。

ALSOKが支援するスポーツのニュースをお届けします。

柔道

梅木真美選手が初めて全日本選手権を制す

体重無差別で女子の日本一を決する大会で、梅木真美選手が頂点に立ちました。2023年4月23日に横浜武道館で行われた全日本女子柔道選手権大会。決勝で児玉ひかる選手（SBC湘南美容クリニック）に横四方固めで一本勝ちし、1回戦からの6試合を勝ち抜いて悲願の初優勝を飾りました。

梅木選手は2016年リオデジャネイロ五輪女子78キロ級代表。2024年のパリ五輪代表も見据えています。



柔道

瀬川麻優選手がグランドスラム東京で準優勝

2022年12月4日に行われたグランドスラム・東京2022 78kg超級で、瀬川麻優選手が準優勝を果たしました。2023年2月のグランドスラム・パリ 78kg超級でも代表に選ばれており、こちらも準優勝となりました。

ゴール
ボール

元パラリンピアン若杉遥が小学生に指導

2022年11月5日（土）、若杉遥が「豊島こども大学」のプログラムの一環で、元パラリンピアンとして小学生にゴールボールを指導。当日は約30名の小学生が、個々の違いを受け入れ、生かしていく（Diversity & Inclusion）ことに触れる機会として、ゴールボールを体験的に学びました。



新戦力が
入社！



柔道部 **たつかわ もも**
立川 桃

👉 パワフルな柔道で、いい成績が残せるように頑張ります。応援よろしくお願いします。👈

入社 2023年4月1日
出身校 東海大学
出身地 愛媛県
階級 63kg級

主な成績 ヨーロッパオープン・ブラチスラバ 準優勝（2020年）
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 第3位（2022年）
全日本強化選手選考会 準優勝（2022年）
全日本学生柔道体重別選手権大会 優勝（2019、2022年）
2023年全日本選抜柔道体重別選手権大会 優勝

大切な家族を 守るために

安全・安心に最善を尽くすALSOKでは、お客様のさまざまなお気持ちに寄り添っています。

ホームセキュリティを導入
したいけど難しそう



▶▶ HOME ALSOK Connect にお任せください

HOME ALSOK Connectならスマホで簡単操作。コンパクトな機器でお家の内装に馴染むデザインです。長時間の外出からちょっとしたお出かけ、そして在宅中まで、最新のセキュリティシステムでお客様のお住まいを24時間365日体制で見守ります。



特徴

2つのセキュリティプラン

選べる2つのプランをご用意。スマホ利用で簡単便利に、お財布に優しい月額990円(税込)～、安全安心を提供します。

オンラインセキュリティ

万が一の際には自動で駆けつける

- センサーが異常を感じるとプロのガードマンが自動で駆けつけ。異常があればすぐにガードマンに駆けつけてほしい、不在時のご両親や子供を守ってほしいという方におすすめ。

セルフセキュリティ

月額990円(税込)～、
誰でも始めやすい!

- 月額990円(税込)のお手頃価格で、誰でもホームセキュリティが始められる。
- もしもの時のガードマンの依頼駆けつけが利用可能。



スマホアプリで簡単セキュリティ

専用アプリ「HOME ALSOK II」をダウンロードして、お手持ちのスマホから操作。警報発生時にプッシュ通知でお知らせも可能。

選べる4つの警備操作方法



スマホアプリ



専用キー



暗証番号



NFCシール

オプション サービス

HOME ALSOK Connect Eye



工事レスで屋内外設置可能な無線式IPカメラが、アプリを通じライブ動画をご提供。バッテリー充電式で、ご自宅のWi-Fi環境のみで手軽に始められます。

詳細は ▶▶ <https://www.alsok.co.jp/person/connect/>

▶▶ こちらのサービスもおすすめてです

HOME ALSOKみまもりサポート



もしものときの「駆けつけ」から、体調に関する「相談」まで。シンプルなコントローラーで操作も安心な高齢者向けみまもりサービスです。また、異常を感知して自動通報できるなど、さまざまなオプションサービスもご用意しています。

まもるっく



「いますぐ検索」機能と、ALSOKの警備ネットワークを組み合わせることで実現した「どこでもみまもりセキュリティサービス」です。

会社概要

(2023年3月31日現在)

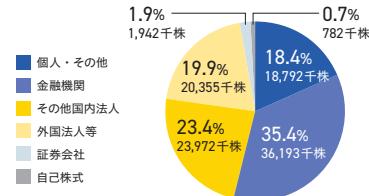
社名 総合警備保障株式会社
(SOHGO SECURITY SERVICES CO.,LTD.)
本社 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6
設立 1965年7月16日
資本金 18,675百万円
事業所 本社・64支社・37支店・257営業所

取締役および監査役 (2023年6月27日現在)

代表取締役 グループCEO	村井 豪	取締役 (社外)	末続 博友
代表取締役 グループCOO	栢木 伊久二	取締役 (社外)	池永 肇恵
取締役	鈴木 基久	取締役 (社外)	三島 正彦
取締役	熊谷 敬	取締役 (社外)	岩崎 賢二
取締役	重見 一秀	常勤監査役	望月 壽一郎
取締役	百武 尚樹	常勤監査役 (社外)	中野 慎一郎
取締役	小松 裕	監査役 (社外)	長沢 美智子
		監査役 (社外)	中川 能亨

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数
300,000,000株
発行済株式総数
102,040,042株
(自己株式 782,410株を含む。)
株主総数
13,384名



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	12,640	12.48
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	7,411	7.31
総合商事 (株)	7,388	7.29
埼玉機器 (株)	5,283	5.21
かまくら商事 (株)	4,150	4.09
総合警備保障従業員持株会	3,541	3.49
みずほ信託銀行 (株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	2,961	2.92
きずな商事 (株)	2,950	2.91
村井 温	2,885	2.84
(株)SMBC信託銀行 ((株)三井住友銀行退職給付信託口)	2,735	2.70

※持株比率は自己株式 (782,410株) を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL:03-5410-4428
E-mail:soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ
総合警備保障株式会社 IR室
TEL:03-3423-2331
FAX:03-3470-1565
E-mail:alsok-ir@alsok.co.jp



ALSOKホームページ <https://www.alsok.co.jp/>



環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。